



新生会看護部通信

2013.1.1発行 第37号

謹賀新年



〔新生会第一病院 岡山看護部長〕

新年あけましておめでとうございます。これまで看護部では、下記の施設で、「新生会看護部」として、現任教育や管理者教育、プロジェクトなど共に活動してきました。2013年4月より平針記念クリニックも仲間に入り、ホスピグループ腎透析看護部として「看護部の理念・基本方針」「中長期ビジョン」を策定しています。2013年度は新たにスタートの年とします。2013年度は、いのちのケア・共育

・連携の3つのキーワードを掲げました。皆様宜しく御願い致します。



各施設今年の抱負〔看護管理者紹介〕

新生会第一病院 十全クリニック

ニューフェースを迎え、新体制の基でも元気に腎不全看護に取り組みます。
〔看護部長心得 宮下美子〕



宮下看護部長心得 三輪主任
山本主任 立松看護業務管理者



澤村主任 題佛師長代理
西谷主任 牛崎師長



井上主任 牧野師長 片村主任

東海クリニック 東海知多クリニック

他施設の応援ありがとう!!
知恵と工夫で今年も頑張ります。
〔師長 永尾洋子〕

花井主任 中尾主任 中谷主任 宮田主任
内田顧問 横内専任主任 永尾師長



金山クリニック



明るい笑顔と柔軟な心で今年も頑張ります。

〔師長 平嶋由美子〕

久保田専任主任 藤澤主任 江崎顧問 吉田主任
伊井専任主任 平嶋師長 田中主任 山内主任

鳴海クリニック

看護の力を発揮し患者さんを元気にしたい。

〔師長 関川美知〕

早川幸子主任 服部主任
関川師長 早川知子主任



“いのちのケア”事例検討会

新生会第一病院
血液浄化センター 西谷佐智子
在宅透析教育センター 立松宣子

「事例を通して患者や家族の生きざまやコアメンバーが自分の看護実践を振り返り、“いのち”を育み合う」を目的に、2011年5月～2012年2月“いのちのケア”事例検討会を行いました。コアメンバー9名が事例を提供、コアメンバー会を行いました。【図1】部署学習会では、患者や家族を理解する為に「症例を観る視点」【図2】で学習を行い、スーパーバイザーからの助言も頂きました。終了後コアメンバーへ「コアメンバー会」「部署学習会」「いのち・生きる」についてのアンケート調査を実施しました。【図3】

【コアメンバーの事例】

【図1】

- 1) 高齢で軽い認知症のCKD患者(ステージ5)の透析導入へ向けてのサポート 外来 橋本小百合
- 2) 超高齢患者の透析導入と家族への関わり 2F病棟 浪上親子
- 3) 透析を拒否する患者および家族の理解 3階病棟 本田和美
- 4) ホームレスを経験した透析導入患者への人として関わることの大切さ 金山クリニック 竹之内美幸
- 5) 水分管理に関心のない患者に対し看護師のアプローチが変化できた要因 鳴海クリニック 杉浦和美
- 6) 合併症を持つ長期透析患者の「死にたい」気持ちを知る 在宅透析教育センター 門嶋洋子
- 7) 学童期に透析導入し成人期を迎えた患者・家族との関わり 十全クリニック 勝間田アイコ
- 8) 突然視力を失った患者の看護 ～患者・家族の通院へのアプローチ～ 浄化センター 久田睦子
- 9) 仕事を優先して透析にこない患者の思いと看護師の思い 東海クリニック 小山内真智

症例を観る視点

【図2】

リソース(資源)

- ・患者の関心ごと、興味、もっている知識 技術・経験を活かす
- ・支援ネットワークの存在・知覚・利用
- ・過去の困難な体験、乗り越え方を聞き活かす
- ・成功してきた事、充実していた過去の経験を思い出す
- ・患者が変えられそうな方法を患者がみつけているか

患者の希望・願い・目標

- ・患者が大切にしていること、どうなりたいか、失いたくないもの

患者の障害・要因

- ・できていないことの妨げになっていること
- ・原因ではなく要因、問題行動のきっかけは何か
- ・起こす理由、ライフイベント・喪失体験・医療者の治療・ケア・関わりの問題、セルフケアに向かえる準備状況

患者のもっている能力

- ・患者の残された機能
- ・健康的な部分
- ・できているところ
- ・プラスの面・努力している事

コアメンバーの終了後のアンケート結果

Q1. コアメンバー会では、どのような学びがありましたか？

- ・自分が体験したことのない事例を知ることができた 【図3】
- ・患者と真剣に向き合う大切さを学んだ。
- ・自分が変われば相手も変わるということを実感した。

Q2. 部署学習会では、どのような学びがありましたか？

- ・いろんな視点からみることができた。
- ・一人の患者について皆で語り合うことで、情報を共有できた。

Q3. “いのち”“生きる”についてどのように考えますか？

事例検討会前:

人が生まれ、生きていく大切なものなど

一般論的・抽象的・漠然

事例検討会后:

- ・関わりをもつことで、その人の人生が変わることがある。
- ・“いのち”“生きる”ことは人と人とのつながり。
- ・私は看護師として多くの人と関わりを持てるこの職業に就けて良かった。

具体的、死生観、看護師としてのアイデンティティが表現

新生会看護研究会にてコアメンバー発表

2012.11.1

丁寧に関ることの大切さを痛感

患者や家族に深く関ることで看護師の気持ちにも変化がある

どの事例もドラマチックで看護師の変化が患者の変化に繋がった

相手の価値観を理解しようとする中でいのちのケアは生まれる

思いや感情に寄り添うことに努力して、チームで改善、自立に向けて援助する姿に感動した



いのちのケアとは特別なケアではなく、看護師が誰もが出来る基礎看護の一部だと思った

ベテラン看護師だけでなく、多くの20歳代の看護師にこのような事例をして、看護の醍醐味を体験してもらいたい



【“いのちのケア”事例検討会終了後の冊子】

研究会に参加されたスーパーバイザーやゲストの方々も涙しながら発表を聞き、感動のコメントを多数頂きました



看護安全シリーズ



全自動透析装置の安全上の注意

全自動透析装置が導入された各施設の看護師に注意事項を聞きました。参考にしてみてください。

金山クリニック 中塚啓予

D-FAS (日機装株式会社)

新生会透析室では、全自動透析装置の操作に慣れてきたころに、だんだん慎重さがなくなり回路の逆セットのミスがみられるようになりました。そこには、操作が間違っていると問題があれば必ず警報で知らせてくれるという思いが前提にあったからだと思います。全自動透析装置の安全上の注意は、セットの意味、どこまでのことを機械が行なってくれ、警報で知らせてくれるのはどこまでかまずよく理解し、1操作ごとに、人の目でしっかり確認し、慎重に操作することが大切だと思います。

新生会第一病院 血液浄化センター
川内 リカ



プライミング時にクランプし忘れたことでA側チャンバ内にエア混入し、エアを抜くのに苦労したという経験がある。クランプの開閉確認がいかに重要かを体験したので、セッティング時からクランプ確認は気を付けている。

当初は警報が鳴る度に緊張し、機械に使われている感じだったが、現在は機械を使いこなしている自負へと変化した。

東海クリニック 主任 宮田 江利子

GC-110N (株式会社ジェイ・エム・エス)

使用当初は透析液でのプライミング・両側脱血など、これまでとは違った方法で混乱がありました。軌道にのるまでは繰り返し手順書の見直しを行い、またプロブレムノートを作成し全スタッフが問題を共有し対処まで周知するようにしました。4ヵ月経過後、「もう慣れた。開始終了が楽になった。導入がスムーズに出来た。」とスタッフからコメントがありました。

鳴海クリニック 主任 服部未香
大友正子



TR-3000MA (東レ・メディカル株式会社)

昨年の11月より2階透析室にTR3000MAが入りました。

始まる前は、自動化ということで“簡単な操作になればいい”など期待と不安に胸を膨らませていましたが、実際に始まると警報が鳴っても機械の画面に触れることの怖さと、覚える事も多少し不安になりました。

現在は機械の操作に慣れ、スタッフの気持ちにも余裕が出てきました。

今後も気を引き締め安全に取り組んでいきたいと思っています。

十全クリニック 辻本なぎさ



おめでとうシリーズ!

♥♥♥ご結婚おめでとう♥♥♥

金山クリニック 長谷川 真奈(旧姓：金子)さん

2人の思い出のつまった大好きな沖縄の
ラソールガーデン

・アリビラクリスティア教会

2012年11月10日に結婚式を挙げました。

結婚式をするなら、絶対海が見える所で!!と決めていた私達の理想通りの教会で挙式が出来、大切な思い出になりました。

